

全国高校スケート

第68回全国高校スケート、アイスホッケー選手権第3日は24日、福島県郡山市の磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場などで行った。スピード男子1000は新井雄貴(小海)が1分16秒28で制し、原純夢(佐久長聖)が4位に入った。女子1000は1年生の高橋侑花(山形中央・中込中出)が1分23秒55のリンク新で優勝。宮川鈴佳(長野県)が1分24秒91で2位、両角ほか(東海大諏訪)が4位に入った。女子3000は小坂凜(山形中央)が4分29秒13で圧勝し、百瀬愛美(岡谷東)が4分36秒54で2位、小山村(長野県)が4位。アイスホッケーは青森県八戸市などで2回戦が行われた。軽井沢は岩手に18-0で勝ち、6年ぶりの8強入り。25日の準

々決勝で、武修館(北海道)と対戦する。

▽男子1000 新井雄貴(小海) 1分16秒28、野々村(北海道・白樺学園) 1分16秒63、松井(北海道・白樺学園) 1分16秒70、原純夢(佐久長聖) 1分17秒91、

23 両角元太(東海大諏訪) 1分17秒25、大野路(岡谷東) 1分18秒10、菊池浩一(岡谷東) 1分18秒82、林翔大(岡谷東) 1分18秒56、油井威一郎(市野農) 1分20秒02、清水大輝(市野農) 1分22秒07、

▽女子1000 高橋侑花(山形中央) 1分23秒55、宮川鈴佳(長野県) 1分24秒91、久長聖(佐久長聖) 1分25秒64、松本竜弥(上長野) 1分28秒93、高橋利子(小海) 1分29秒13、

分29秒13 菅原里緒(諏訪薬) 1分29秒96、上條真緒(松本国際) 1分31秒16、保科玲奈(市野農) 1分31秒30、小倉志織(伊那西) 1分32秒24、花岡里帆(岡谷南) 1分33秒66、高見沢美良(小海) 1分35秒46、水野愛香(岡谷東) 1分35秒91、曾根江香(岡谷東) 1分37秒21、西原万葉(長野県) 1分38秒25、47 生野麻優(市野農) 1分38秒95、河野菜穂(伊那西) 1分40秒15、平沢菜々子(佐久長聖) 1分40秒71、岡角有乃(東海大諏訪) 1分41秒47、

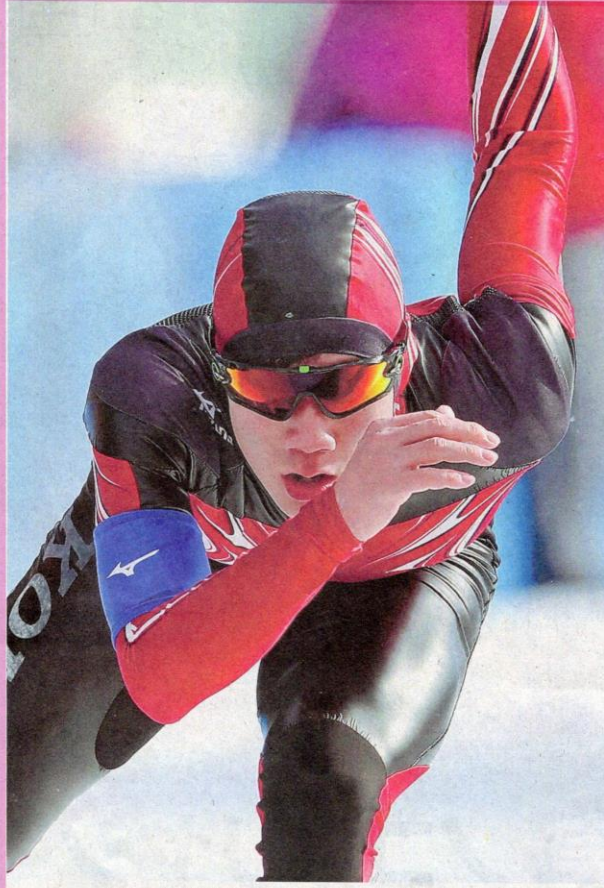
▽女子3000 小坂凜(山形中央) 4分29秒13、百瀬愛美(岡谷東) 4分36秒54、福田(山形中央) 4分36秒54、小山村(長野県) 4分37秒、

85 福岡歩里(東海大諏訪) 4分40秒19、5 真真佑花(諏訪回陽) 4分40秒96、0 花岡明徒(岡谷南) 4分43秒00、矢崎晴里(長野県) 4分43秒00、

大諏訪) 4分43秒41、柳沢純音(佐久長聖) 4分52秒18、浅川華(伊那西) 4分55秒22、西原椿葉(長野県) 5分0秒52、年山莉奈(諏訪薬) 5分12秒93

風に負けず 新井小海初V

男子1000



男子1000を制した新井雄貴(小海)

ショートトラックを主戦場とする新井が、強風下の難しいレースを制した。男子1000で初優勝の3年生は「びっくりして実感が湧かない」と照れて笑った。前日に見つかった靴のねじの不具合を直し、この日朝の公式練習に臨むと「しっくりきた。吹き荒れた風にも、

ショート主戦場 夢は五輪

「仕方がない」と割り切った。タイムより気持ち良く滑る感覚の方を重視。序盤にインスタートの前走者をうまく追えたことで、ゆとりが生まれ、好結果につながった。

前日の500は20位に終わっていた。今回は「せめて入賞したい」と臨んだ。優勝候補に名前が挙がっていた野々村(北海道・白樺学園)らについても「強いなと思っていただけ」と特に意識していなかった。レース後にリンクの内側でクールダウンしていると、仲間の「わー」という歓声で優勝を知った。

ショートトラックでは2年前のながの銀嶺国体の少年男子500で優勝。今季のスピードの練習は、今大会前の1週間しか積んでいない。スピード大会での人生初の優勝がインターハイとなり、市川監督は「明るくて真面目な子。良く頑張った」と目を丸くした。

今春に進学予定の日大で競技を続ける。「ショートで北京五輪に出場したい」。18歳の夢は広がっている。(越 茂樹)